

【 会 議 録 】（概要）

日 時	令和5年5月30日（火） 午後1時30分～3時00分
会議名	越谷市立小中一貫校整備PFI事業における第2回越谷市PFI事業者選定審査会
場 所	中央市民会館4階 会議室A・B
議事等	<p>1 開会</p> <p>2 報告事項</p> <p>（1）入札参加資格審査の結果について</p> <p>（2）基礎項目審査の結果について</p> <p>（3）提案内容の概要について</p> <p>（4）市から事業者への事前質問回答について</p> <p>（5）資金・収支計画、地域経済への配慮の評価結果について</p> <p>3 協議事項</p> <p>（1）各委員の仮評価について</p> <p>（2）委員から事業者への事前質問内容について</p> <p>（3）プレゼンテーション・ヒアリング審査の進め方について</p> <p>4 その他 今後のスケジュールについて</p> <p>5 閉会</p>
資料等	別添のとおり
出席委員	<p>【委員】</p> <p>長澤会長、濱本委員、竹内委員（3人）</p>
事務局等	<p>【事業所管部】</p> <p>青木学校教育部長、</p> <p>五十嵐学校教育部副部長兼学校管理課長、</p> <p>磯山学務課長兼小中一貫校整備室長、</p> <p>杉田学校管理課調整幹、</p> <p>岡田小中一貫校整備室主幹、森田同主任、木村同主任指導主事、</p> <p>平林同主任指導主事、コンサルタント5人（13人）</p> <p>【事務局】</p> <p>野口行財政部長、山梨公共施設マネジメント推進課長、堤同調整幹、</p> <p>並木同主幹、本田同主事（5人）</p>

内 容	会議録のとおり
<p>●決定事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・本日欠席の委員については、第3回審査会において、仮評価に対する意見を伺う。・事前質問事項については、現時点で確認したい内容についてまとめ、事業者から事前に回答をいただくので、その回答内容で疑問等が解消しない部分があれば、ヒアリングの中でも同様の質問を行う。・委員は、事前質問に対する事業者からの回答を踏まえ、仮評価に変更がある場合には6月14日までに事務局に送付する。	

会議録

司会：公共施設マネジメント推進課 山梨課長

1 開会

- ・長澤会長から開会の挨拶

2 報告事項

(1)入札参加資格審査の結果について

- ・入札参加資格審査の結果、2グループともに資格要件を満たしていることについて、学校教育部から説明を行った。

質疑・応答

- ・特になし

(2)基礎項目審査の結果について

- ・基礎項目審査の結果、2グループともに概ね審査基準を満たしており、適格であると判断したことについて、学校教育部から説明を行った。

質疑・応答

- ・特になし

(3)提案内容の概要について

- ・提案内容の概要について、資料1-1及び資料1-2に基づき学校教育部から説明を行った。

質疑・応答

- ・特になし

(4)市から事業者への事前質問回答について

- ・事前に市から事業者へ依頼した質問事項の回答内容について、資料1-3に基づき学校教育部から説明を行った。

質疑・応答

- (委員) 事前質問事項への回答について、特に気になった点があれば説明してほしい。
- (事務局) 特に気になった点はない。

(5)資金・収支計画、地域経済への配慮の評価結果について

- ・評価項目のうち、資金・収支計画については、日本公認会計士協会埼玉会に依頼して評価を行っていただき、地域経済への配慮については、地元企業の参画割合から評価点を算出したことについて、学校教育部から説明を行った。

質疑・応答

- (委員) 資金・収支計画に係る評価について、2グループ間で差があるが、提案内容にどのような差があったのか。
- (事務局) 第3回審査会までに、依頼した公認会計士から審査講評をいただく予定なので、第3回審査会において、ご報告させていただきたい。

3 協議事項

(1)各委員の仮評価について

- ・各委員の仮評価について、資料2に基づき事務局から説明を行った。

質疑・応答・意見

- (委員) どちらの案もプラスマイナスがあった。管理側で良くても児童生徒の利用を考えると不都合があるなど、評価が難しかった。どちらかという、児童生徒目線で考えた場合に様々な部分に配慮されていたのは、
[redacted]の方だったのではないかと思う。
[redacted]の方は
[redacted]、生徒が実際に入りづらいのではないかと感じたが、管理的にはこちらの方が良かった。管理面と児童生徒の利用面のどちらに重きを置くかで評価が変わると思った。
- (委員) 施設が出来上がったあとをイメージして、学校と教育委員会で継続的

に議論ができるかという観点、学校を主体として、地域も巻き込んだ形で進められているかという観点で評価した。学校や教育委員会、行政も一体となって進めていく形が望ましいと思う。学校の校長は3年程度で異動するが、校長や教育委員会の担当者が代わったとしても、組織は継続し、それぞれの学園の方向性を維持していくことが大事。

(委員) PFI事業は内容と同時に金額も併せて提案する方式であるため、費用に応じて何をどこまで変えることができるかということが重要なテーマである。大きなプロジェクトなので、どんな学校になるかという点は大きな関心・興味があるところだと思う。建築のプロセスの中、あるいは完成した施設に対して主体的に関わっていくことができるかどうかが大変なので、PFIという枠組みの中でどこまで考えているか、考える用意があるかという点について確かめられれば良いと思う。

(委員) 全体的に各委員の評価をみるとD評価がない。両グループとも提案を求められた事項に対して積極的に提案をしようとする姿勢が評価されたものと判断できる。応募する側が大変な労力をかけて提案したことに対して、審査会としてまずは敬意を表したいと思う。D評価は評価基準では要求水準並みとされており、決して悪い評価ではないが、A、B、C、Dと並べると最低評価のような印象があり、積極的に提案をしようとした姿勢を評価してD評価はつけなかった。仮評価一覧表を見ると、各委員とも同様のお考えだったかと感じた。審査するという観点から、差をつけることも求められるし、一定の基準を満たしていれば差をつけないという考え方もある。その結果として各委員の評価点に違いが表れているところもあると思う。そのうえで評価が審査委員によって2段階分かれている項目を見ると、一人だけA評価、あるいは一人だけC評価という項目もあった。その点については、ヒアリングを通して、また最終評価点を確定する際に、確認しあえればと思う。審査会として十分な検討を行ったうえで、このような採点になったということが伝わるようにしたい。

(委員) 審査項目の中には、例えば管理諸室、学童保育室と仕上げ計画・ユニバーサルデザインが一つになっている項目があり、管理諸室の評価

が高いけれどユニバーサルデザインの内容はあまり記述がないといった場合に、どのように評価するかが難しかった。また、周辺環境・地球環境への配慮の項目についても、環境という言葉は共通しているが、中身は全く違うので、これを一つの項目で評価するのは難しい。審査項目の構成にやや問題が感じられたので、今後の検討課題としていただければと思う。

(委員) 本日欠席の委員については、次回第3回の審査会において、ヒアリング前にご意見をいただくということで進めさせていただきたい。

決定事項

・本日欠席の委員については、第3回審査会において、仮評価に対する意見を伺う。

(2)委員から事業者への事前質問内容について

・委員から事前に提出していただいた事業者への事前質問事項（案）について、資料3に基づき事務局から説明を行った。

質疑・応答

(委員) 資料3の質問については、事業者から事前に回答をいただくということか。それともヒアリング当日にこの質問を行うということか。

(事務局) こちらについては6月2日に事業者に送り、6月9日に事業者から回答をいただくので、第3回の審査会前に事前に委員の皆さまに情報提供させていただく予定である。

(委員) この質問の回答とは別に、当日応募者から説明が最初にあると思うが、その質問回答書と、提案書の説明を踏まえた質問を当日各委員から個別にさせていただくということによろしいか。

(事務局) その通りである。

(委員) 事前質問事項の内容は、事前に各委員が確認することが可能か。

(委員) 委員の了承が得られれば、事務局一任で良いと思う。

→異議なし

(委員) 2グループの提案内容を比較すると、(仮称)蒲生学園については、XXXXXXXXXXはほぼ基本計画の配置を基に提案をしている。この

提案内容をどのように評価するかが考えどころだと思った。

は、（仮称）蒲生学園について、基本計画に対する提案者としての考え方を明確に記述したうえで、基本計画では3階だった体育館を、図書館を中心に特別教室ゾーンをまとめるなど、新たな提案をしている。基本計画通りが良い、良くないということではなく、提案姿勢の違いについては、確認するとよいのではないかと。

また、（仮称）川柳学園については、両グループとも基本計画をベースにしながら、特にボリュームの大きい諸室の設置方法や、周辺外部への動線などの考え方に違いがある。

なお、は、または、基本的な課題として2階以上の縦の動線に関して、を感じる。これらをどう考え、また改善する可能性があるかという点について質問をしたい。これを当日の質問で良いのか、事前質問事項とした方が良いのか、事前質問の性質を確認したい。

（事務局） 現時点で確認したい内容については、事前質問として事業者から回答をいただき、そこで解消しない部分等があれば、ヒアリングの中でも同様の質問をしてご納得いただければと考えている。

決定事項

・事前質問事項については、現時点で確認したい内容についてまとめ、事業者から事前に回答をいただくので、その回答内容で疑問等が解消しない部分があれば、ヒアリングの中でも同様の質問を行う。

(3)プレゼンテーション・ヒアリング審査の進め方について

・プレゼンテーション・ヒアリング審査の進め方について、資料3に基づき事務局から説明を行った。

質疑・応答

（委員） プレゼンテーション・ヒアリングの順番は決まっているのか。

（事務局） 受付順となっている。

（委員） 当日までに行う内容としては、先ほどの質問事項を整理することかと

思うが、事前質問事項はいつまでに送れば良いか。

(事務局) 6月2日に事業者へ送付するため、それまでにまとめていただきたい。

(委員) 事前質問事項に対する回答を踏まえ、もう一度仮評価を行って事務局に送るということでよろしいか。

(事務局) 仮評価に変更がある場合のみ6月14日までに事務局までお送りいただきたい。

(委員) ヒアリングの時間は30分であるが、内容は事前質問事項に対する回答に付随した質問をするということか。

(事務局) 事前質問事項に対する回答の中で、解決していなかったものや、プレゼンテーションの内容についての新たな疑問点について質問していただければと考えている。

決定事項

- ・委員は、事前質問に対する事業者からの回答を踏まえ、仮評価に変更がある場合には6月14日までに事務局に送付する。

4 その他

- ・今後の審査会のスケジュールについて、事務局から説明を行った。

5 閉会

- ・長澤会長から閉会の挨拶